

# フィリピンレイテ島で 電気探査



電気探査を終えて

この地は、昭和20年10月米軍のレイテ島上陸時に三十三連隊が全滅した場所であり、第二次世界大戦の激戦地でした。当会は、昨年9月12日から18日にかけて、フィリピンレイテ島のパロ(十字架山)で電気探査による防空壕探しを行なっていました。これは、当会副理事長坂本氏の戦争体験に基づく情報によるものです。結果、空洞が数ヶ所あることが判明しましたので、厚生労働省に報告しています。

## 川副理事 日弁連副会長に



当会理事、川副正敏先生が日本弁護士連合会(日弁連)副会長に選ばれました。川副先生は、経歴でもおわかりのように、人権派の弁護士として、常に弱者の立場に立った弁護士活動を行ってこられました。この活動が評価を受けたものだと思えます。また、当会発足時から理事として会の運営に適切なアドバイス

を願っております。健康に留意され、大役を果たされることを願っております。

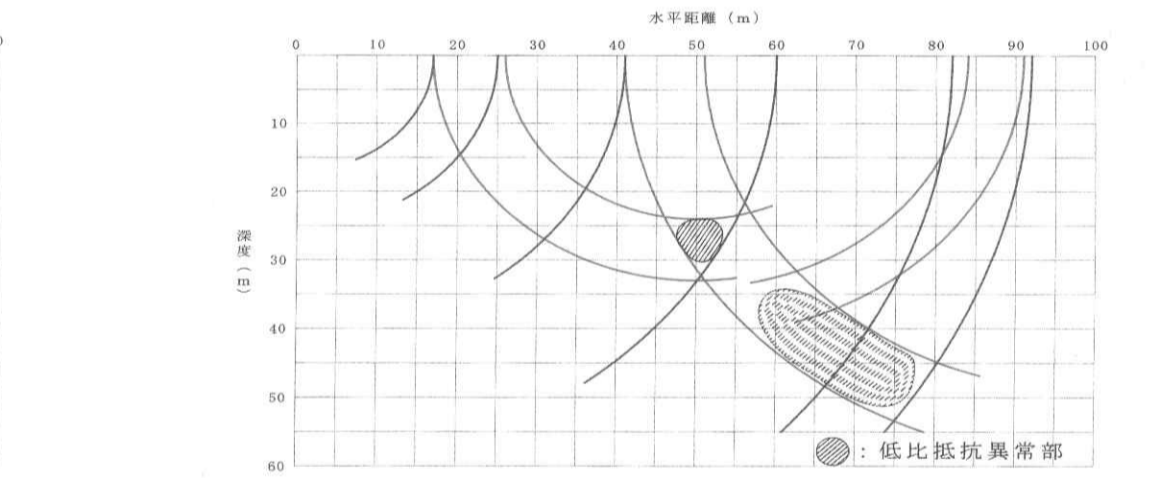
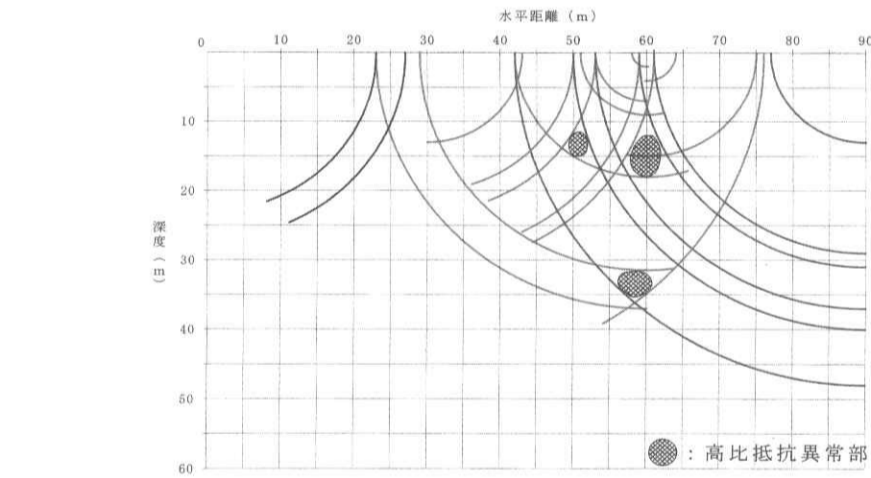
を頂いています。一昨年当会が出版した、「戦争を風化させるな」にも寄稿頂き、アメリカに追従し、戦争への道をひた走る、日本政府のあり方に警鐘を鳴らしておられます。

日弁連副会長の間は、東京にお住まいになりますが、副会長の職務は激務だと聞いております。

健康に留意され、大役を果たされることを願っております。

## 探査結果

1. 探査期間 H17・9・12～18
2. 探査地域 (No.1側線) パロシティ 十字架山南側斜面 麓より約30mの中腹を北東方向に100m (No.2側線) パロシティ 十字架山南東側尾根沿いに南東から北西方向に90m
3. 探査方法 沖縄県米須地区の探査で実施した、電気探査比抵抗法の一つであるポールダイポールで行なった。
4. 探査結果 (No.1側線) 本探査地域においては、空洞と考えられる明確な高比抵抗異常部は確認されなかったが、基準点より水平距離約50m、深度約30m付近に低比抵抗異常部が確認された。
5. 結論 今回の探査においては十字架山の中腹を2地域について実施した。No.1側線については、地下空洞と考えられる場所は検出されなかったが、逆に低比抵抗異常部が検出された。これは地層自体の異常部もしくは地下水の影響も考えられる。No.2側線については、地下空洞の存在を示唆する高比抵抗異常部が3ヶ所確認されており、この地域についてはより綿密に調査を行なうことが必要であると考えられる。



## 旧満州を慰問して

理事 桑野 智喜人



父は、昭和20年5月に旧満州閔島省立病院にて病死いたしました。

満州開拓の礎である地勢測量の仕事に関わり、19年7月母と結婚、最後は激務に倒れ、肺結核になり異国の地で残る家族を心配し亡くなりました。

母は、家の事情で看護に行っていたが心残りが多かったことを悔やみ、行かせなかつた祖母に対して愚痴をこぼしていたことを思い出します。

戦時中娘1人を満州にやれなかつた祖母の心配も痛いほど分かり、死んで逝った祖母と、そのことを責

めた母の寂しさ苦しさ、初老を迎えた今、ようやくわかつたような気がします。母は、昨年脳梗塞で倒れ、右半身不随と言語障害で、今ケアハウスに入所しています。会いに行くのが嬉しそうに口をあげ微笑んでくれ、慰みにプレゼントしたピンクのトラの人形を左手でしっかりと握り、その手を差し伸べてくれます。

本年9月父の慰霊を兼ね、父の位牌を持って中国へ遺骨収集仲間数人とで行ってきました。60年ぶり、病床の母との約束がはたされました。写真で見覚えのある大連港、父として母が叔父の手伝いに来て初めて出会った長春の街、父が入院した療養したであろう大連の陸軍病院跡、父の遺骨が預け

られたハルピンの極楽寺でしたが、行方が分からず、お寺の片隅でこそそこそ同行の僧侶、坂本さんに説教をあげて頂きました。父母のやり取りの郵便に書かれた断片の記録とセピア色に色あせた写真の風景を頼りにその場所を尋ねました。母が言っていた赤茶けた剥げ山、広い道路、ポプラ並木のある静かな町、軍の官舎はまだ残っていました。母への土産にその風景をカメラに収めました。

中国経済発展の波は過去の遺物を押し流すべく、官舎は一部取り壊され、高層マンションがすぐ近くまで迫っていました。旧満州に取り残された遺体20万は、土にもどつても迎えない日々を無念の思いで待ち続けているように思えます。

## 日比合同慰霊祭

(フィリピン・レイテ島)

当会では、毎年8月に戦没者の慰霊巡拝のため、フィリピンを訪問しています。

昨年は、たくさんの方々に協力頂き、レイテ島のバリエイ小学校に校舎を寄贈することができました。その落成式を慰霊巡拝と合わせて行いました。

本年も、左記日程で日比合同慰霊祭を計画しております。希望の場所でも慰霊祭を行うこともできます。参加を希望される方は、事務局までご連絡下さい。詳細をお知らせいたします。

【日程】  
平成18年7月30日(日)～8月4日(金)  
(5泊6日)  
参加費 168,000円 (税込)  
※参加人数により変更する場合がございます

## 日本労働組合総連合会から 「愛のカンパ」

「沖縄戦戦没者遺体収容体験活動」に対して「連合・愛のカンパ」の地域助成に申請し、助成を受けることができました。遺体収容に必要な道具の購入及び、現地での活動費に当てさせていただきました。



ホームページ更新中!!

会の動きなど随時更新中。是非ご覧になって下さい。

<http://www.senbotsusya.com>